

2週間にわたる教育実習は、短い期間ではありましたが、私にとってとても思い出深い2週間となりました。

2週間の間に貴重な経験をたくさんさせていただき、様々なことを感じ、考え、学ぶことができたと思います。厳しくも、温かく指導して下さった先生方や、教師としてまだまだ足りない私を好意的に受け入れてくれた生徒のみなさんには、とても感謝しています。

実習期間中、様々な授業を見学させていただいて、授業の指導の様子や生徒の様子を見ることができました。特に、担当教科である数学科の授業の見学では、数学的な内容や題材の扱い方をたくさん学ぶことができました。高校生として授業を受けていた時とは違う目線で授業を見学することができたと思います。

担当させていただいた授業では、ただただ先生方と生徒に申し訳ない授業をしてしまったと後悔しています。自信がないばかりに自分を卑下することばかり言ったり、緊張して声が小さくなったりと、生徒が不安になってしまうことばかりしてしまったと反省しています。また、授業を予定通り進めることばかりに気を取られ、一方通行の授業をしてしまうことも度々ありました。授業は生徒と共に作り上げていくものであり、教師1人で作り上げられるものではありません。生徒1人1人とコミュニケーションをとり、生徒をしっかり見ることが授業で1番大切なことだと学ぶことができました。授業中の生徒に対する質問も、ただ投げかけるのではなく、どのような質問が返ってくるかを考え、意図を持って質問することが大切だと学びました。

また、授業の他にも、担当クラスのSHや終礼をさせていただきました。生徒とたくさん関わることでできる担任の先生の仕事の魅力や難しさを改めて知ることができたと思います。SHや終礼だけではなく、授業などでも、生徒の前で話すときには、例え下手でも生徒に少しでも伝えようとする気持ちが大切だということを学びました。

実習中、嬉しかったことは、授業や部活動、掃除等の参加を通して、たくさんの生徒と出会えたことです。コミュニケーションをとるのが下手な私に話しかけてくれた生徒、積極的に質問してきてくれた生徒、真剣に授業を聞いてくれた生徒、すれ違ったときに挨拶をしてくれた生徒等、たくさんの生徒がいました。多くの生徒が実習生である私をあたたかく迎えてくれたことをとても感謝しています。

また、毎日、日直の生徒が書いてくれた学級日誌にコメントを書くのが楽しかったです。コミュニケーションが苦手な私でも、生徒の言葉に気軽にコメントを書くことができました。

た。学級日誌の内容には、その日の学校での出来事以外にも、私のことについて書いてくれる生徒も何人かいて嬉しかったです。学級日誌から授業だけではわからない生徒の様子を知ることができて良かったです。

この 2 週間の実習を通して、教員としてだけでなく、社会人として大切なことをたくさん学ぶことができたと思います。この経験を忘れず、今後活かしていけるよう努力していきたいと思います。

最後に、私が実習中、心がけたことを 3 つ挙げたいと思います。

まず、1 つ目は、基本的なことですが、時間に余裕を持った行動を心がけました。私は、実習中、毎日なるべく早く学校に行くようにしていました。特に実習の初日は、言われた時間よりも少し早く学校に行き、今後の予定の確認や、トイレに行く等、余裕を持って行動することができました。朝は、先生方も忙しい時間なので、迷惑にならないよう、余裕を持って行動すべきだと思います。

私が実習中、心がけたことの 2 つ目は、実習中、教科に関わらず、たくさんの先生方の授業を見学したことです。学校には、いろいろな先生方がいらっしゃいます。同じ内容の授業でも先生が違うだけで授業が違ったものになります。それぞれの先生が様々な工夫をして授業をしているので、とても勉強になりました。

私が実習中、心がけたことの 3 つ目は、積極的に生徒とのコミュニケーションをとったことです。実習中、実習先の学校がテスト直前ということもあり、あまりたくさん授業をさせていただくことはできませんでした。そのため、生徒と触れ合う時間が少なく、生徒とのコミュニケーションをとるのに少し苦労しました。できるだけ多くの生徒とコミュニケーションをとるため、積極的に挨拶をしたり、学級日誌のコメントを書いたりするよう心がけました。また、掃除や部活動、HL、終礼等、授業外の活動にも積極的に参加しました。